

**【令和4年度 第1回愛媛県認知症施策推進会議ワーキンググループ  
(若年性認知症自立支援ネットワーク会議) 会議結果概要】**

**1 会議の名称**

愛媛県認知症施策推進会議ワーキンググループ  
(若年性認知症自立支援ネットワーク会議)

**2 開催日時**

令和4年8月26日(金) 15:30~17:00

**3 開催方法**

オンライン

**4 出席者**

構成員 8名  
事務局 5名 (長寿介護課)  
関係課 1名 (健康増進課)  
計 14名

**5 内容**

- (1) 開会
- (2) 課長挨拶
- (3) 構成員紹介
- (4) 議題
  - ①愛媛県内の若年性認知症施策について
    - ・愛媛県の認知症施策について
    - ・市町の認知症施策の取組について
  - ②意見交換
- (5) 閉会

**6 審議の内容 (全部公開・傍聴者0名)**

- (1) 愛媛県内の若年性認知症施策について  
事務局から説明(資料1、資料2)

令和3年度の愛媛県の認知症施策の取組状況、市町の認知症施策の取組、若年性認知症支援施策(市町調査結果)、愛媛県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支

援計画の達成状況、チームオレンジの取組等について説明した。

## (2) 意見交換

### 【構成員からの主な意見】

- ・コロナ禍のため、各種実績が目標値を下回るのは理解できるが、コロナと共存していかなければならず、計画が柔軟性に欠けるのではないか。
- ・認知症疾患医療センターでは、外来は比較的大丈夫であるが、入院部門についてはクラスターの発生等により大変な状況が続いている。面会を中止するから入院したくないという人はいない。
- ・愛媛産業保健総合支援センターにおいても、今後認知症についての講演会等を実施したいと考えている。また、職域から早期治療につなげるため、産業医に認知症に関する知識について研修を行っていきたい。
- ・若年性認知症支援コーディネーター事業において、昨年よりコロナの影響が大きいと感じている。
- ・若年性認知症施策の市町調査において、診断直後に本人と結び付けられる取組について、なしと回答した市町数が多い。
- ・医者が多忙であり、認知症サポート医になってもらえない現状がある。
- ・初期集中支援チームは段階を踏む必要があり時間がかかるので、他の方法で医療や介護保険サービスにつなげている。
- ・チームオレンジについては、まだ本人ニーズの支援までは至っていない。認知症カフェで相談業務を行ったり、認知症についての勉強会を行ったりしている。
- ・行政が企画を出してくれると、認知症本人や関係者等の垣根がなく、取り組めるのではないか。シンプルにみんなが楽しめるものがあればよい。

## (3) 意見交換の結果

ここで検討された内容は、愛媛県認知症施策推進会議に報告する。

[事務局]

保健福祉部生きがい推進局

長寿介護課介護予防係

電話 089-912-2431

FAX 089-935-8075